

新年のご挨拶



息に同かい、2類から5類に格下げになりいろいろな制約も解除され、会員の皆様方にはほとんど一息ついたお正月を迎えられたのではないでしょうが。

のではないのでしょうか。

さて本年4月に行われる診療報酬改定が気になるのですが、医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定となります。通常、診療報酬は2年に1度改定が行われ、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬は3年に1度改定が行われることから、今回は6年に1度の同時かつ大規模な改定となることが予想されます。また来年、2025年は「地域医療構想」の最終年であり、次期改定は地域医療構想も踏まえた内容となることが予想されます。

増加する高齢者の救急搬送等も踏まえ、適切な急性期入院医療の提供及び機能分化の観点から、転院搬送を含め、救急医療

新年明けましておめで
とつぐざいます。

2024年度は、医療界にとって重要な年となります。まず、6年に1回の診療報酬、介護報酬障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年であり、各報酬間の有益かつ有機的な連携が必要とな

ります。今後は在宅医療への需要の増加が見込まれており、地域における多職種連携を支えられた医療・介護・在宅のスムーズな移行、在宅における診療・看護や薬剤管理への適切かつ持続的な対応など、疾患予防や地域での共生に視点を置いた

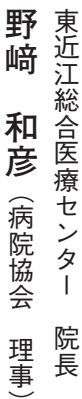
に係る評価の在り方などが論点となります。

次期改定について医
療・介護全体を俯瞰しま

日数の短縮を進めるとともに、リハビリ・口腔・栄養管理の一体的推進による入院中のADL（日常生活動作）の低下を防止する施策が重視されるようです。一方の介護では、状態の安定しない早期退院患者の受け入れ能力の評価・強化という方向性が見えてきます。

さらに本年4月から「医師の時間外労働の上限規制」が始まるため、医師並びに医療従事者の働き方改革の推進に向けた評価の在り方も重要です。次期改定でのポイントは、医療機関間、医療と介護（障害）の情報連携と、それを効率的に進めるための「医療DXの推進」です。また、医師の働き方改革が始

「やさしい医療」施策が推進されていくと思われます。



東近江総合医療センター 院長
野崎 和彦（病院協会 理事）

働き方改革関連法が
2019年4月から施行
され、2024年4月か
らは医師も対象となり、
勤怠管理、タスク・シフ

業務効率化、健康相談・ハラスメント対策などを進めながら医療機関内での労働環境改善を図ることとなります。医療の効

ており、2023年1月から運用されている「電子処方箋」、従来より懸案であった電子カルテ情報の標準化、また新たな

神疾患・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）および5事業（救急医療・災害時における医療・へき地の医療・周産期医療・小

大初期や蔓延期の状況に応じた対応方針を定めることになっています。

は落ちていくものの、少子化の影響とともに生産年齢人口は年々減少し、社会保障費の負担が増えます（2040年問題）

がターゲットとなることが予想され、今後も診療報酬の引き上げは必ずしもあつてほしいかもしれない。医療界全体としても

の質の向上と少子高齢化社会に向けた「やさしい医療」の構築を進める必要があります。

発行所
一般社団法人 滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
<http://sbk.co-site.jp/>
発行人 会長 三木 恒治

事業・在宅医療でロジックモデルによる施策の整理や指標設定を取り入れ可視化をはかり評価してゆくことです。具体的な内容は3月までに策定予定です。

ント社)。コロナ禍の混乱を乗り越えた現在の人手不足、インフレ、金利上昇、円安、地政学リスクなどなど、混沌とした時代に経営者の能力、先見の明、その本質が問われています。

この銘言は小売業だけ

新年あけましておめで
とうございます。

新年を迎え、皆様に健
やかな毎日が訪れますよ
う、心よりお祈り申し上
げます。

また、日頃より、本県
の保健・医療・福祉行政

を賜っておりますことに心から感謝申し上げますとともに、年末年始においても、県民のために仕事をしてくださっている医療関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

現在、県においては

の交流事業が再始動した。アメリカ・ミシガン州との姉妹提携55周年、中国・湖南省との友好提携40周年という節目を迎えた昨年、交流団が往来し友好の絆をさらに深めることができた。

視した取組を進めます。

また、関西広域連合庁や全国知事会副会長を任命する滋賀県知事として、大阪・関西万博や「わたしのSHIGA輝く国」ポ・障スボ2025」開催に向けた機運醸成をほ

滋賀県知事

三日月大造

新年あけましておめで
とびびぎびます。

新年を迎え、皆様に健やかな毎日が訪れますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、日頃より、本県
の保健・医療・福祉行政
に格別の御支援と御協力

「院長とともに滅びるは
どうでしょう。コロナ禍
の終息後の（コロナの補
助金の終焉）、この混沌と
した状況でのかじ取りが
院長の背中にずしりと
かかってきます。かじ取

りを一歩間違えるとタイ
 エーやそごう・西武百貨
 店などが示すように、全
 く同じ視点ではとらえら
 れませんが、退場を余儀
 なくされるかもしれませ
 ん。正月早々、我々院長・
 事務長にとっては重い話
 になってしまいました。が
 病院の経営責任者の責任
 の重さが痛感されます。

く幸せを感じられる「健康しが」の実現を目指し、生まれる前から看取りまで、切れ目なく必要な医療福祉を提供できる体制を整備してまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、世界で猛威を振

今後とも、気候変動による異常気象の多発、生物多様性の損失、生成AIなどの技術革新、担い手不足などに伴い、社会構造や価値観の変容がさらに進むことが予想されます。そうした中で、滋賀県では、子ども・若者が希望とともに歩む未来を展望し、引き続き「子ども

恵みを、そして時に災いをもたらす「水」に改めて思いを寄せ、「水のつながり」を大切にする年にしたいと考えてます。

本年も県民の皆様と共に、世界へ、未来へつながりひろがる「健康しるし」の実現に向けて精一杯取り組んでまいります。」

緒にがんばりましょうー

用し、滋質の存在感や発信力の向上にも努めています。

今年は辰年。龍神は水を司る神とされます。琵琶湖をお預かりする滋賀県知事として、私たちに

恵みを、そして時に災いをもたらす「水」に改め、
て思いを寄せ、「水のつな
なり」を大切にする一
年にしたいと考えます。

本年も県民の皆様と共に、世界へ、未来へつながりひろがる「健康しがの」実現に向けて、精一杯取り組んでまいります。一緒にがんばりましょう！

年頭に思う

(順不同)



副会長
来見良誠

あけましておめでとうございます。令和6年を迎えるにあたり一言新年のご挨拶を申し上げます。4年間にわたる新型コロナウイルス感染症の脅威が終息し、医療現場を見渡すとコロナ対応を最優先した診療体制から通常の診療体制への再構築が急務となっています。医療機関への受診行動が大きく変容した市民に対して、地域の医療機関としては、

次の新興感染症に備えつつ、平時の診療体制を強化するために、臨機応変な病床対策が要求されています。

さて、待ったなしになった「医師の働き方改革」ですが、その第一歩は業務量調査にあると思います。「医師の働き方改革」は単に医師の働き方だけでなく、他の職種に大きく影響する可能性があります。医師の業務

地域医療構想では、医療機関個々の役割分担が重要になってきます。各医療機関の利点を生かしつつ地域として最良の医療提供体制が整備される



日本シリーズ第4戦、同点で迎えた8回表。2死1・3塁でマウンドへ向かうは、まさかの背番号65。二飛に打ち取り、9回サヨナラ勝ち。あの場面、長期離脱の湯浅投手を送り出した岡田監督の采配には、多くの虎兇諸兄も驚かれたのではないかと。勿論彼の冷静な判断、すなわち「俯瞰」もあってのことであろう。しかし、千手先が読めるなんて持て囃されている

AIですら、あの一手は導き出せなかったはず。仮に出来たとしても、幾何かの時間を要したに違いない。やはり人にしかない「勝負勘」である。勝負勘とは一瞬の閃きであり、論理的に表現すれば「根拠のなき答え」となる。ところが、閃きは養うことが出来ると言われている。精神科医である小生が博打を推奨することは好ましく

新年あけましておめでとうございます。昨年、感染症に戦争、経済の低迷が引き続いた1年でした。しかし時間だけは確実に過ぎ去り、新しい年が始まります。徐々にですがひろがってしまった人と人との物理的な距離も以前に戻ろうとしています。新しい形のつながり方が模索されているようです。オンラインもつくり、より負担の少ない、よりスムーズなつながりを作り出すことができればと思います。今年はいよいよ医療界の働き方改革が本格的にすすみます。この改革は働いていない時間の使



副会長
楠井隆

ACPPについて

政府も「人生会議」などという呼称を提案するなどACPPの普及に一定の意欲を示している。しかし、現場の感覚ではなかなか浸透しているとは言えない印象である。まず、医療者側にもACPP・DNARとの誤解が蔓延している。しかし、ACPPはケア全体のプランであり、その時点での「医療の利用しかた

医療へのかかり方」を意味し、単に蘇生・延命にかかる判断を事前に明確化するというにとどまらない。マラソンを趣味とするようになり、90過ぎてフルマラソン完走したいなどと思う私ではあるが、やはり、年齢による衰えは避けられない。ADLとしては自立であっても、速く走れる、ゆっくりなら走れる、長距離でも歩くこ

とはできる、近所までなら歩いて行ける、庭には出れる……色々な段階がある。公共交通機関や車を使って楽しめる行動範囲も体力次第である。ACPPは体力や人生の目的・目標、意欲に応じた医療の利用仕方を考えることが主眼で、例えば室内生活が主で寝たり起きたりになってきたときには病院にかかるよりもかかりつけ医に全てを任せず、年方によいかもしれない。寝たきりともなると通院よりは訪問診療がありがたい。そうなる、急に体調が悪くなった

新年あけましておめでとうございます。今年も病院とは関係ない話で始めます。暗い話ばかりのこのご時世の中、昨年は大谷翔平のまさに異次元の活躍が我々日本人にとっての唯一の清涼剤と言える明るい話題でしたが、これに加え、我々、関西人として最も嬉しかったのがやはり阪神タイガースの38年ぶりの日本シリーズ制覇でした。阪神ファン

の子供たちは小さいときから人間ができていて、それはすでにその歳で頻りに挫折を経験しているからだという笑話があるりますが、現在のタイガースの強さに疑問を感じる子供たちはおそらくいないでしょう。岡田彰布監督は、巨人の原監督とともに私とほぼ同じ歳で、個人的にはその采配に非常に興味がありました。監督が、シーズン最初に選手たちに言ったこ

支援をお願いしました。急なこともかわらず快く対応いただき、乗り越えることができた。本当に助かりました。この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。当院を支援してくださった組織間の連携は、人と人のつながりの結果であり、それは、それぞれ支援いただいた病院内の人間関係の

すばらしさに根差していることがうかがえるものです。ご支援いただいた皆様に支援した甲斐があったと思っています。ただけるように、ますます努力してまいります。会員病院の皆様が今年も健やかに過ごされま

新年あけましておめでとうございます。昨年、感染症に戦争、経済の低迷が引き続いた1年でした。しかし時間だけは確実に過ぎ去り、新しい年が始まります。徐々にですがひろがってしまった人と人との物理的な距離も以前に戻ろうとしています。新しい形のつながり方が模索されているようです。オンラインもつくり、より負担の少ない、よりスムーズなつながりを作り出すことができればと思います。今年はいよいよ医療界の働き方改革が本格的にすすみます。この改革は働いていない時間の使



理事
石田展弥

月にクラスターが発生しました。11月には2つの病床で発生し、患者さんのみならず、スタッフも相次いで罹患したため、精神科病院協会の皆様にスタッフ援助のご

AIですら、あの一手は導き出せなかったはず。仮に出来たとしても、幾何かの時間を要したに違いない。やはり人にしかない「勝負勘」である。勝負勘とは一瞬の閃きであり、論理的に表現すれば「根拠のなき答え」となる。ところが、閃きは養うことが出来ると言われている。精神科医である小生が博打を推奨することは好ましく

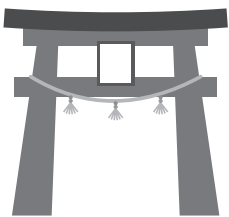
新年あけましておめでとうございます。昨年、感染症に戦争、経済の低迷が引き続いた1年でした。しかし時間だけは確実に過ぎ去り、新しい年が始まります。徐々にですがひろがってしまった人と人との物理的な距離も以前に戻ろうとしています。新しい形のつながり方が模索されているようです。オンラインもつくり、より負担の少ない、よりスムーズなつながりを作り出すことができればと思います。今年はいよいよ医療界の働き方改革が本格的にすすみます。この改革は働いていない時間の使

方改革でもあります。すべての医療関係者が生き生きと働く、あるいは働かない時間を生き生きと過ごすことでより一層パフォーマンスの高い働き方ができる、そんなことが実現できれば素晴らしいと思います。本年もどうかよろしく願いいたします。



理事
松岡俊樹

新年あけましておめでとうございます。昨年、感染症に戦争、経済の低迷が引き続いた1年でした。しかし時間だけは確実に過ぎ去り、新しい年が始まります。徐々にですがひろがってしまった人と人との物理的な距離も以前に戻ろうとしています。新しい形のつながり方が模索されているようです。オンラインもつくり、より負担の少ない、よりスムーズなつながりを作り出すことができればと思います。今年はいよいよ医療界の働き方改革が本格的にすすみます。この改革は働いていない時間の使





理事
横田 徹

明けましておめでとうございます。

昨年より、COVID-19感染症が5類となり、投資や海外からのインバウンドが増え、日本経済によりよく活気が出てまいりました。とてもありがたいことです。病院では、昨年10月にコロナ病棟閉鎖後、久しぶりに会食が解禁となりました。マスクを取って初めて素顔をみる職員も多く、同じ空間、時間を共有することで、WEBでは得られない温かな感覚が甦り、心も身体も高揚するのがわかりました。改めて、対面でのコミュニケーションの大切さをしみじみ感じた次第です。

一方で、大変残念なことに、ウクライナとロシア、パレスチナとイスラエルの戦争が連日報じられ、子供たちを含む多くの犠牲者に心が痛みます。一体何が正義なのか、一体わたしたちはどこに向かおうとしているのか。心より早期の収束を祈るばかりです。

2025年、滋賀県では第79回国民スポーツ大会、第24回障害者スポーツ大会が、4月からは大阪万博の開催が予定されています。豊郷病院も2025年創立100周年を迎えます。あと1年ありますが、地域のみなさま、連携する医療機関、県、保健所など関連各機関に支えられた100年間で、心より感謝致します。これからも、地域の基幹病院として、滋賀県病院協会と共に、一歩一歩、着



理事
五月女 隆男

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症がひと段落ついたと思った矢先のインフルエンザの大流行ですが、新型コロナウイルスは、どの感染力は、なくこれまでの経験が活かされていることを実感しております。

本年は診療報酬改定や医師働き方改革の実



理事
仲 成幸

新年明けましておめでとうございます。皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。昨年は阪神タイガースが38年ぶりに日本一となりました。しっかりと守って失点を防ぎ、四球でも罠に出て得点を重ねるといふ基本に忠実な岡田監督の野球と若手の成長がみごとに結果したと思います。「アレンパ！（連覇）を期待しています。さて、今年の干支は十干の一番目「甲」と十二支の五番目「辰」の「甲辰（きのえ・たつ）」です。陰陽五行思想ではあまねく光に照らされ、

実際に歩みをすすめます。本年もどうぞ宜しくお祈り申し上げます。（豊郷病院院長）

可欠とされており、オンライン診療等にも積極的に関与する時代となっております。医師の負担軽減につながるような有効な利用が促進されることを願っております。

ようやく通常の診療体制にもどり、経営その他が基礎状態にデフォルトされる1年となります。各病院とともに最大限にその医療力が発揮できることを祈念しております。（ヴォーリス記念病院院長）

新年あけましておめでとうございます。皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。昨年は阪神タイガースが38年ぶりに日本一となりました。しっかりと守って失点を防ぎ、四球でも罠に出て得点を重ねるといふ基本に忠実な岡田監督の野球と若手の成長がみごとに結果したと思います。「アレンパ！（連覇）を期待しています。さて、今年の干支は十干の一番目「甲」と十二支の五番目「辰」の「甲辰（きのえ・たつ）」です。陰陽五行思想ではあまねく光に照らされ、

実際に歩みをすすめます。本年もどうぞ宜しくお祈り申し上げます。（豊郷病院院長）



理事
辻川 知之

新年明けましておめでとうございます。

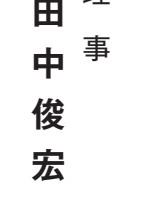
この3年間はコロナの話題ばかりでしたが、ようやく本来の医療について語れそうです。しかし、2024年は医師の働き方改革が本格的にスタートし、さらに物価高騰など医療支出が激増する中、化す動き手不足を補う



理事
小川 修

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍が終息しつつあるという比較的に明るい出来事もありましたが、戦争の拡大、電気・ガス・ガソリンや物価の高騰、補助金削減による病院の赤字など、ほとんど良いニュースの無い一年でした。新年早々、

心も暗くなりがちなので、今年からは「いやな事」はしないと心に決めました。院長職では「いやな事」はいろいろありますが、お給料をもらっている関係上、逃げることは出来ません。しかし、私事においては、もう「いやな事」はしないことにしました。

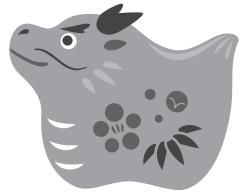


理事
田中 俊宏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては良い一年となりますように、心よりお祈り申し上げます。猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症も5類に移行になり、形の上では一段落、

ほっとしています。このまま今年が良い年になってもらいたいと願っているところです。差し当たって、誰に気兼ねすることなく堂々と新年会を開けるのは、幸せです。今年は働き方改革がいよいよ開始とな

方策の一つとして、政府がリスキングを推奨するように、この働き方改革を機に院内で働く全ての職種が各自の専門領域以外のタスクもこなせるように促していきたいです。病院は様々な職種のプロ集団であり専門外の学びは簡単ではありませんが、他部署の大変さ、思い知って協力しあうという組織風土の醸成には繋がるはずです。そう、2024年は医療人のマルチタスク化元年を宣言



これまででは天気が悪くても修行のように趣味のゴルフに行っていました。気を遣わなくてはならない同伴者がいても、おつきあい優先で行くこともありました。いったん約束をしたら絶対断らない事にしていましたが、もう止めます。これからそんなに長くない人生です。「いやな事」に時間をかける余裕はありません。先日、家内がめずらしく本を読んでいたの、その題を見ると「好きなことだけで生きる」というフランス人が書いた

心も暗くなりがちなので、今年からは「いやな事」はしないと心に決めました。院長職では「いやな事」はいろいろありますが、お給料をもらっている関係上、逃げることは出来ません。しかし、私事においては、もう「いやな事」はしないことにしました。

心も暗くなりがちなので、今年からは「いやな事」はしないと心に決めました。院長職では「いやな事」はいろいろありますが、お給料をもらっている関係上、逃げることは出来ません。しかし、私事においては、もう「いやな事」はしないことにしました。



理事
白山 武司

今年の干支は辰。辰年辰月辰日辰刻に生まれたことで有名なのは芥川龍之介で、名付けの理由になっている。しかし、成功と発展の象徴、無上の吉祥である天上

の生き物「龍」も、4つ重なる重苦しい。龍之介も珠玉の短篇で名をはせたが、神経を病み、必ずしも円満に人生をまっとうしたわけではない。龍は風雨を巻き起



理事
高折 恭一

あけましておめでとうございます。令和6年は、ポストコロナ時代となり、病院運営に新しい取り組みを要すると考えています。市立長浜病院では、多職種の連携によりチーム医療を推進し、患者さんの満足度を向上することを目的に、Enhanced Recovery After Surgery (ERAS®)の導入を進めています。ERAS®は手術後の回復力強化プログラムで、エビデンスに基づいたプロトコルにより周術期管理を行い、患者さんのストレスを減らし、術後早期回復を進めることを目的とした国際的な取り組みです。わが国でも多くの病院が、ERAS®本部が発刊しているガイドラインを参照しており、その有用性は広く認められています。当院は国内で初めてERAS®本部の指導を受けて、実際の診療をモニタリングし、

そのデータを元にした解析でPDCAサイクルを回し、さらに周術期管理を改善していく体制を整えました。これまで、外科麻酔科医師・看護師・理学療法士・管理栄養士などからなる多職種チームのメンバーが、スウェーデンとシンガポールから派遣された指導者からERAS®についてさまざまなことを学んできました。[https://erasociety.org/about/centres-of-excellence]。次の目標は、これまで学んだことを活かして、それぞれのメンバーが近隣の医療従事者と交流し、周術期管理について情報交換を行なっていくことです。今年は、滋賀県病院協会の皆さまの病院と、医療従事者の交流ができれば幸いです。と考えていますので、何卒よろしく願います。（長浜市病院事業管理者・市立長浜病院院長）

え、一方で新田開拓や商品経済の発展に乗って作物を工夫し成功した人たちも大勢いる。それにあまり、「生かさぬよう殺さぬよう」制御される側であっても、新しい水路を開拓しつつ、何とか生き抜く術を駆使して、登り龍を夢見て一年を乗り切りたい。（近江八幡市立総合医療センター病院院長）

え、一方で新田開拓や商品経済の発展に乗って作物を工夫し成功した人たちも大勢いる。それにあまり、「生かさぬよう殺さぬよう」制御される側であっても、新しい水路を開拓しつつ、何とか生き抜く術を駆使して、登り龍を夢見て一年を乗り切りたい。（近江八幡市立総合医療センター病院院長）

え、一方で新田開拓や商品経済の発展に乗って作物を工夫し成功した人たちも大勢いる。それにあまり、「生かさぬよう殺さぬよう」制御される側であっても、新しい水路を開拓しつつ、何とか生き抜く術を駆使して、登り龍を夢見て一年を乗り切りたい。（近江八幡市立総合医療センター病院院長）

え、一方で新田開拓や商品経済の発展に乗って作物を工夫し成功した人たちも大勢いる。それにあまり、「生かさぬよう殺さぬよう」制御される側であっても、新しい水路を開拓しつつ、何とか生き抜く術を駆使して、登り龍を夢見て一年を乗り切りたい。（近江八幡市立総合医療センター病院院長）



理事
日野明彦

あっという間の2023年が過ぎていきました。

私が医者になったのは40年前ですが、当時の恩師からは「医者は金の計算をするな」「医者は宣伝をするな」という二つの教えを受けました。この教えに従って、ずっと脳神経外科の臨床医をしてきましたが、大津市民病院の院長となった今は、

管理職は裏方ですから、まずは現場の状況を知る

べく、とにかく現場に入ることを心がけてきました。そう思っていたら、いつの間にか臨床の最前線で働くようになっていました。どうやら私には院長職よりもこちらの方が向いているようです。どこまで自分の体が続くのかはわかりませんが、今年も職員一丸となって頑張ってまいります。

(市立大津市民病院)



理事
武田佳久

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。

診療報酬改定や働き方改革といったイベントを控え、2024年は新型コロナウイルス感染症後の病院運営に関して重要な年であると考えております。空床補償を伴った新型コロナウイルス専用病床が昨年11月より完全になくなり病院収益もかなり厳しい状況となっている印象は否めません。そこで当院はこれまで別の組織であった高島市訪問看護・リハビリテーションの3本柱が病院に揃うことで当院のよ

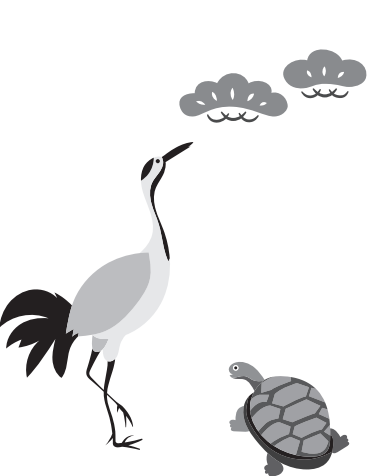
うな典型的な地域医療を担う基幹病院としては、住民の方々が当地で生まれてから一生の間に様々な場面面で健康支援に携われると期待しております。



理事
足立壮一

滋賀県病院協会の皆さま、明けましておめでとうございます。本年も引き続きのご指導のほど、よろしくお願いたします。

当院では、COVID-19感染症が5類感染症に指定された後、コロナ患者さんを一般病床の個室で入院管理をする体制に変更し、高齢者介護施設や開業医の先生方からの紹介を極力お断りせず、病院運営に努めてま



組織として組み入れる予定で。これにより地域医療に必要な在宅診療への道が開けたものと考えております。また3年前にも介護保険施設を附属の組織としており、僻地診療所、介護保険施設、訪問看護・リハビリテーションの3本柱が病院に揃うことで当院のよ

うな典型的な地域医療を担う基幹病院としては、住民の方々が当地で生まれてから一生の間に様々な場面面で健康支援に携われると期待しております。

(高島市民病院)



いりました。また、院内の救急受け入れ態勢の整備をさらに充実させ、県民および医師会の先生方のご要望に添えてまいりたいと思います。昨年11月に当院で開催したオープンホスピタルでは、1200人以上の来場者に来ていただき、多くのこともさんたちにも、ロボット手術体験、車いす体験等、多くの催しもの

にご参加いただきました。本年は、新しい当院のマップコットキャラクターびわろんと共に県民に愛され、信頼される病院として職員一同頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

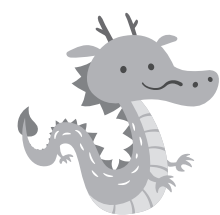
(滋賀県立総合病院総長兼 病院長)



監事
濱名優

元来文才がなく、SNSで上手に自身の考えなどを発信されている方を羨んでいた自分にはこの会報への原稿執筆は結構気の重い宿題です。「そうだ、今流行りのチャットGPTに書かせよう」で書かせてみたら一応通り一遍の挨拶文が出てきました。「ユーモアを交えて」と追加でリクエストしたらAIなりに工夫が見て取れます。そこで、せっかくなのでこの会報

の誌面を駄文で汚してしまおうと思い直し、苦手をネガティブに考えず、日頃モヤッと考えていることをしっかりと論理的にまとめて発信していけるようになることを今年の抱負にしようと思いました。今は日常の精神科診療でAIを意識したり、AIに助けてもらったりというのは皆無ですが、仕事の効率化を図る上でAIとの付き合い合い方をいずれ真剣に考え



(滋賀八幡病院)

敬老の日イベント 『ホスピタルコンサート』



柳村 宏美

近江八幡市立総合医療センター
総務課経営企画グループ

当医療センターでは、去る令和5年9月21日、滋賀県出身のヴァイオリニスト宮田晴奈様、ピアノニスト市川未来様をお二人をお迎えし、敬老の日イベント『ホスピタルコンサート』を開催させていただきました。

びわ湖芸術文化財団様では、滋賀県出身の新進演奏家やびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが病院や福祉施設におもむき、病氣療養中の方、高齢者など、さまざまな理由で生の音楽に触れる機会の少ない方に心穏やかな時間を過ごしていただく機会を提供し、滋賀

の誌面を駄文で汚してしまおうと思い直し、苦手をネガティブに考えず、日頃モヤッと考えていることをしっかりと論理的にまとめて発信していけるようになることを今年の抱負にしようと思いました。今は日常の精神科診療でAIを意識したり、AIに助けてもらったりというのは皆無ですが、仕事の効率化を図る上でAIとの付き合い合い方をいずれ真剣に考え

県民に愛され、信頼される病院として職員一同頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。



監事
中野顯

皆様、新年あけましておめでとうございます。新しい年が始まり、健康と幸福が満ちる一年となることを心よりお祈り申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが一段落し、阪神タイガース38年ぶりの優勝などの明るい話題がありました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻には出口が見えず、中東では新たな武力衝突が勃発しました。辰年は激動の年に

なることが多いといわれています。戊辰戦争、日露戦争が辰年に起きています。戦後5回しかない辰年のうち3回も総選挙が行われました。ロッキード事件やリクルート事件といった汚職事件も辰年に発覚しています。東京スカイツリー開業、青函トンネル・瀬戸大橋開業、東京五輪・東海道新幹線開業などの国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴です。



(彦根市立病院)



『チャルダッシュ』といったクラシックの名曲や故郷の四季メドレー』『見上げてごらん夜の星を』など聴きなじみのある曲を、アンコールを含め全7曲披露して下さいました。会場は入院患者さんだけでなく、ちょうどコンサート当日に外来診療のため来院されていた患者さんやそのご家族など、多くの方が聞き入っておられ、1曲の演奏ごとに大きな拍手が沸き起こりました。40分間という限られた時間ではありましたが、ヴァイオリンとピアノの二重奏がおりなす豊かなハーモニーに会場全体が包まれる素晴らしいコンサートとなりました。

令和5年5月より、新型コロナウイルスは5類感染症に移行したとはいえ、院内では感染拡大への懸念は消えずコロナ患者さんへの対応や感染防止の対策を継続して行っています。今回のコンサートは、面会制限により閉塞感を感じておられるだろう入院患者さん、さらに日夜懸命に働く医療従事者にとっても心に残る癒しのひとときとなったことと思います。

演奏者の宮田晴奈様と市川未来様、ご来場いただきました皆様、そしてびわ湖ホールスタッフの皆様からご支援を賜り、敬老の日イベント『ホスピタルコンサート』を盛況に開催できました事に改めてお礼を申し上げます。今後も、患者さんの思いに寄り添う医療が提供できるよう努めてまいります。ありがとうございました。

令和5年度(第20回) 病院医療機能評価 受審フォーラムに参加して



地域医療機能推進機構

滋賀病院

総務企画課長

佃 達也

令和5年10月26日に「令和5年度(第20回)病院医療機能評価受審フォーラム」が開催されWebにて参加させていただきました。このフォーラムは、公益財団法人日本医療機能評価機構の協力を得て、サーベ

と題して、病院機能評価の概要や、評価の目的・意義、第三世代の特徴、3rd・Ver.3.0の特徴について、ご講義いただきました。

特に、第3世代の評価では、「臨床現場で展開される診療・ケア、業務の流れなど、活動状況に重点を置いた確認」つまり、病院機能の発揮、組織的活動のプロセスに審査の重点が置かれること。

また、機能評価の意義として「職員と患者の安全性を確立させること」で変更された評価項目、職員が主体的に医療の質

向上に向けた活動を取り組めるようにすることというお言葉が、とても印象に残りました。

その後、評価領域ごとに、解説が行われました。評価項目ごとの解説では、各項目の具体的な内容や、評価の際に留意すべき点について、詳しく説明がありました。

診療サーベイヤール 林一朗先生からは、評価項目(診療領域)のポイントについて、3rd・Ver.3.0で変更された評価項目、新たに導入された「医療

菅に大きく関わっていると

「患者や地域社会が期待

安全・感染対策フアンド」調査」についてご講義いただきました。

視点で確認」することなど詳細な解説をいただきました。

事務管理サーベイヤール 佐合茂樹先生からは、評価項目(事務管理領域)のポイントについて、解説をいただきました。

当院は、来年7月に病院機能評価を受審する予定となっています。

川幾東先生からは、評価項目(看護領域)のポイントについて、お話がありました。

この研修会は、医療を取り巻く厳しい環境を踏まえ、病院の管理・運営等にかかる幅広い情報を提供する

川幾東先生からは、評価項目(看護領域)のポイントについて、お話がありました。

今回のフォーラムで、ご講演賜りました先生方、またフォーラムを企画、運営して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

今回のフォーラムで、ご講演賜りました先生方、またフォーラムを企画、運営して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

今回のフォーラムで、ご講演賜りました先生方、またフォーラムを企画、運営して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

今回のフォーラムで、ご講演賜りました先生方、またフォーラムを企画、運営して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

令和5年度 滋賀県病院協会 院長・事務長合同研修会を 開催して



社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院

事務部長

籠谷 弘和

の人権に向き合う」というテーマにて、認定特定

本人の利益を最優先して最終代行者が決定しなければならぬ

社会福祉士・認知症ケア専門士である中原一隆所長をお招きしてご講演いただきました。

今回の研修会に参加させていただき、今後の対策への取り組みに活かしていきたいと思

はじめに高齢者と人権として、昨今問題となっているオレオレ詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺、また高齢者虐待の実態について説明がありまし

今回の研修会に参加させていただき、今後の対策への取り組みに活かしていきたいと思

は、自己決定の尊重と本人の保護との調和です。しかし、この調和が非常に難しく、「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」(平成30年6月策定)の基本原則である、本人の示した意志は、それが他者を害する場合や本人にとって見過ごすことのできない重大な影響が生ずる場合でない限り尊重される。また意思決定支援にあたっては身近な信頼できる関係者等がチームとなって必要な支援を行う体制(意思決定支援チーム)が必要であるとのことでした。

今回の研修会に参加させていただき、今後の対策への取り組みに活かしていきたいと思

令和5年度 第2回 医事研究会 保険診療・施設基準の重要性を学んで 医療機関における事務部の役割



大津赤十字志賀病院

医事課 入院係長

北端 一仁

令和5年度第2回医事研究会におきまして、「指導・監査の対応と保険診療の適正・査定」をテーマで、株式会社ニチイ学

報酬の査定・返還などを受けないために、病院としての役割、各部門の役割を学びました。

各職種の役割を詳細に解説していただき、まず、医師においては「保険診療のルールをどれくらい熟知しているか」が重要で、診療報酬の算定要件

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

役として綿密な情報共有が必要で、また、質の高い看護を提供することは患者さんの満足度向上につながるの

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

令和5年度第2回医事研究会におきまして、「指導・監査の対応と保険診療の適正・査定」をテーマで、株式会社ニチイ学

報酬の査定・返還などを受けないために、病院としての役割、各部門の役割を学びました。

各職種の役割を詳細に解説していただき、まず、医師においては「保険診療のルールをどれくらい熟知しているか」が重要で、診療報酬の算定要件

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

役として綿密な情報共有が必要で、また、質の高い看護を提供することは患者さんの満足度向上につながるの

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート

看護師においては、各種書類の記載内容の把握、看護記録の内容など医師の第一のサポート



令和5年度 退院支援機能強化事業全体研修会報告

ゼロからはじめる人生会議ACP

最期を迎える旅立ちのために「旅したく」を始めませんか

「人生会議始めの二歩」を顔の見える研修で実践



地方独立行政法人 市立大津市民病院
地域医療連携支援センター
センター長 北川 智美

コロナ禍を乗り越えて、その人生をいかにとらえて顔の見える集まりを本年は是非とも行いたい。検討委員会で一致したところからスタートいたしました。改めて、退院支援機能強化をするためには、私たちは何を学ぶべきか、それぞれの現場での今の状況を出し合い、その方向性は、未曾有の感染症を経験した国民・県民は、

令和5年度 滋賀県病院協会

医療安全対策研修会に参加して



大津赤十字病院
医薬品安全管理責任者（薬剤部長）
上田 豊実

令和5年11月29日、滋賀県病院協会主催の「医療安全対策研修会（WEB開催）」が開催されました。開会後、滋賀県病院協会会長（済生会滋賀県病院院長）の三木恒治先生のご挨拶に始まり、同協会医療安全担当理事（滋賀医科大学医学部附属病院院長）の田中俊宏先生の司会進行の下、講演1は、「医療安全窓口担当者研修会」、講演2は、「医療



チーム大津京を構築されておられます。そのご経



験から、どの地域でも発生している社会問題、高齢社会における課題を具体的に講演頂き、コロナ禍で集合研修がなかった私たちにさらにグループワークを「サイ五郎さんちの人生会議」の絵本とカードを用いて、具体的なACPを行うテクニックを、本人の思いを汲む、願いをかなえる人生

安全対策研修会」として開催されました。講演1では、尾崎恵子様（滋賀県健康医療福祉部医療政策課主任主事）から、「医療安全相談室の運営および令和4年度相談対応状況等について」ご講演を賜りました。現在、滋賀県は、県医療安全相談室、保健所など計8か所で患者からの苦情や相談を受けており、令和4年度は602件の

相談があり、相談内容別件数は、「医療行為・医療内容」211件（35%）、次いで「医療知識等を問うもの」105件（17%）、「コミュニケーションに関すること」80件（13%）の順に多く、年齢は、70歳の順に多く、相談回数は、2回以上が36%を占めるとの報告がありました。相談事例の中で特に考えないといけないこととして、「コミュニケーション



令和5年度(第14回) 研修医および若手医師のためのフォーラム

『働き方について思うこと』

淡海医療センター
呼吸器内科 専攻医
福本 洋介

はじめに今回のフォーラムを主催してくださいました滋賀県病院協会の皆様や参加いただきました先生方に心から感謝申し上げます。私は生まれも育ちも滋



最後に、このような有教示いただいたことを理解し、レジリエンス・エンジニアリングな対応ができるように努力していきたいと思ひます。

（7面に続く）

